

自治会長会議に係る事前質問に対する回答

質問事項1	市民部 生活環境課
世帯主異動の知らせについて	
質問内容 当自治会では、自治会加入を勧めつつも、無理強いせず、せめて広報配付をさせていただきますという働きかけをしてきました。今年度は自治会員に加え、広報のみ世帯数も8世帯になっています。このように地域の情報提供に努めてきている最中に、個人情報保護の観点から「世帯主異動一覧」の提供を停止するという通知が昨年度ありました。世帯数を知らされても、その家族からの申し出がなく、広報を渡せない状況も出現すると思えずし、避難行動支援者名簿を活用している当自治会にとっては、災害時の救助に落としが生じたり、民生委員への情報提供にも支障が起こったりすることが想定されます。新築された方や死亡による増減に関して家族がよしとするならば「どなたかが分かる」情報提供ができる方法は考えられないでしょうか。 質問回答 (担当 生活環境課コミュニティ推進班) 区域内の世帯情報に制約がある中、広報配布等にご協力をいただきありがとうございます。転入者等に関する情報は、個人情報にあたることから、『個人情報の保護に関する法律』により、本人の同意がある場合を除き、原則として第三者に提供することができません。したがって、自治会への情報提供は同意を得た方についてのみ、情報をお知らせしているところです。ご難儀をおかけしますが、事情をご理解のうえ、可能な範囲での広報配付及び避難行動要支援者の把握について、引き続きご協力をお願いいたします。 なお、市では、転入届等を提出した方へ、該当する自治会名と自治会長の連絡先を記載した『自治会加入のご案内』と題したチラシを配布し、自治会への加入を推奨するとともに、加入しない場合も自治会長等にあいさつするようお願いしています。	
質問事項2	健康福祉部 すこやか子育て課
市内での出産実現について	
質問内容 鹿角市内で産婦人科の復活が可能なのか伺いたい。私の孫二人も大館市で出産したが、遠距離のため、移動中に異常がないかハラハラしたと聞いている。鹿角の若者の定着率を考えると、地元での出産はぜひ実現してもらいたい。 質問回答 (担当 すこやか子育て課健康づくり班) 産婦人科の分娩機能再開に向けては、複数の産婦人科や麻酔科の医師、また助産師など医療従事者の確保のほか、鹿角市や周辺自治体の人口や患者数などの影響もあり、経営的な問題をはじめ多くの課題を抱えております。そのため市では、関係機関への要望活動のほか、様々な手法を用いた医師確保対策の継続とともに、現状の外来診療体制を維持しつつ、妊産婦の経済的負担の軽減にも取り組んでいます。 妊産婦の支援につきましては、大館市立総合病院への通院にかかる負担の軽減や妊産婦の不安を解消するため、かかり増しになる交通費や宿泊費等の助成を開始し、妊産婦の声を反映させながら拡充を行っております。また、広域行政組合と連携し、緊急時の迅速な状況把握のため、「ママ・サポート119」への事前登録を行い、出産を控えた妊婦の不安の軽減につなげております。 今後におきましても、医師確保対策や妊産婦の支援に関する取組みを進めながら、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進してまいります。	

質問事項3	
自治会館における上下水道使用料金の減免について	
質問内容	
上下水道使用料について、毎月0立方メートルと表示されながら、月3,727円請求され、年額44,720円の支払額となっています。基本料金が定められているとは思いますが、自治会館のように年に数回しか使用しない、準公的建物の使用料について、減免措置があってもよいのではないかと考えます。	
質問回答	(担当 上下水道課管理班)
水道料金及び下水道使用料は、ご質問のとおり、使用水量が0立方メートルであっても基本料金が定められ、水道料金では口径13ミリの団体用であれば月2,077円、下水道使用料では用途に関係なく一律月1,650円をいただいております。 これは、水道等の使用がなくても、毎月の検針に要する費用のほか、法律に基づく8年に一度の水道メーターの交換に要する費用など、水道等の使用がなくても生じる費用があることから、基本料金としていただいているところです。 水道料金及び下水道使用料は、水道であれば河川等の水を飲料水として飲用できるように浄水処理し、各家庭等の蛇口まで水道水を給水するために必要な費用のすべてを、また、下水道については、排出される汚水を管渠等により処理場まで運び、河川に放出できる水準まで処理するために必要な費用のすべてを、それぞれ水道料金あるいは下水道使用料で賄うことが原則とされており、市が設置した公共的な施設で使用する場合でも減免せずに料金をいただいておりますので、現時点では自治会館等の準公的建物であっても減免措置を設けることを考えておりません。 実際の使用が少なく、負担感が大きいことと思いますが、ご理解くださるようお願いいたします。	

建設部
上下水道課